安心して暮らすため、憲法を守り抜く年に

憲法改正へ流れ急ピッチ

◇昨年３月、戦争法が施行され同盟国に依頼されれば海外で武力を行使できる国となりました。そして、自衛隊員は南スーダンに派遣され、駆けつけ警護などの任務が与えられました。(死亡時９千万円)
◇昨年７月の参議院選挙の結果、国会では改憲勢力が３分の２を超えました。また衆・参両院で「憲法審査会」が再開され、憲法改正への流れが急ピッチとなりました。

防衛予算、過去最大５兆１０００億円

◇過去最大の防衛予算の中には、沖縄で墜落した「オスプレイ」４機(１機１００億円)、また、１機１４６億円もする「ステルス戦闘機」６機を購入するとしています。このような高額な米国製戦闘機を購入する必要があるのでしょうか。
◇防衛装備品の研究費として大学などへの補助金を６億円から１８倍の１１０億円に増やしています。大学を軍事研究の場にさせてよいものでしょうか？

防衛費膨張、暮らし圧迫

◇私たちの納めた血税が防衛費膨張などによって、社会保障費が１４００億円も削減され、医療費の自己負担が上がり、介護サービスを利用した際の支払いも上がり、国民の負担が増加し、暮らしはますます厳しくなっていきます。
◇生活保護について政府は、これまで保護基準を２回にわたり変更し、給付額を最大１０％も切り下げるという大幅削減がされました。全国の生活保護世帯は増加の一途をたどっています。浜松市においても、生活保護世帯は５７３５世帯(７５５６人)に及び、２０１５年度は、１１６億円が支給されています。

憲法理念を多くの人と共有を

◇新しい年を迎え、安心して暮らすために、すばらしい憲法をもう一度読み直し、
その価値を地域に広め、多くの人と手をつなぎ憲法を守り抜きたいと思います。